

# コヨット! 通信

No. 10

2017年5月31日発行

5月号

日本生協連  
組合員活動部

春休みに全国で受入れ企画を実施していただきました。

おおさか、えひめ、ながさき、神奈川の4生協や団体に企画していただき

子ども80名、保護者16名が参加しました。ありがとうございました。

さまざまな体験企画の他、長崎では平和公園や原爆資料館をめぐり平和について学習する機会を設けていただきました。

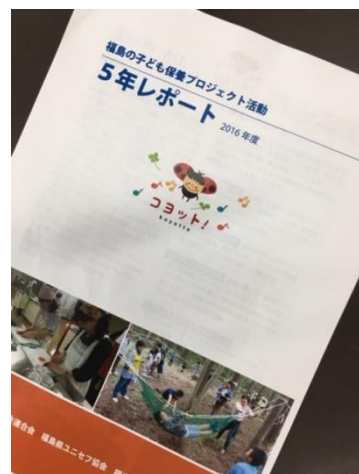


## 福島の子ども保養プロジェクト活動 ～5年レポート2016年度版から～

コヨット!の毎年の活動をつづった2016年度版「5年レポート」を作成中です。日本生協連通常総会の展示コーナーで配布します。

前号でご紹介したように、コヨット!運営委員会では、スタッフや支援してくださる大学の先生たちを交えてこの5年半の軌跡を振り返りました。成果として確認されたことは、次の4点です。①子どもたちが普段できない体験をし、のびのびと過ごすことができた。②子どもだけでなく保護者がリラックスし、他の親子と交流ができた。③全国の支援者に、コヨット!が福島の現状を知るきっかけとなっている。④スタッフ自身が学び、支援者として成長を実感している。

これらの事は、当初から意図されていたものではなく、子ども保養について手探りをする中から出来上がってきました。普段の子育てや福島で暮らす事の悩みを相談できる友人を見つけたという参加者も生まれています。



イメージ: ただいま校正中です



## 肌寒い小雨でしたが、無敵に!遊びました ～5/13-14 いちらく～

10家族15名の子どもたちと15名の保護者が参加しました。あいにくの雨でしたが、天童のわくわくランドには大きなテントがあり、雨を気にせず遊ぶことができます。バドミントンやボール遊び、缶ぽっくりなどを楽しみました。初めて参加した家族がほとんどだったので、どこで知ったかを聞いたところ、ネット上の子育て支援のホームページからだそうです。確認するとコヨット!の全企画が丁寧に掲載されていて驚きました!



### 【参加者アンケートから】

「生憎の雨天ですが、子どもたちは全然無敵にあそんでいました。屋根付きの外遊び楽しかったです。初めてのパン食い競争で笑顔たくさん見れました。缶ぽっくりや輪投げの昔の遊びもていねいにスタッフさんが説明してくれてよかったです。」



## シルク・ドゥ・ソレイユ「トーテム」鑑賞日帰りツアー ～5/5 仙台市～

5月5日こどもの日、コヨット！バスツアーをお願いしている福島交通観光(株)さんが創立55周年を記念して企画したトーテム仙台公演に、バス17台中2台を割り当ていただきました。休憩を入れて2時間半と長い公演でしたが、演技、舞台装置、音響ともすばらしく、子供たちは時間の長さを感じることなく見入っていました。ゴールデンウィークの一つの楽しい思い出となりました。



### 【参加者アンケートから】

「ずっと子供に見せたいと思っていたシルク・ドゥ・ソレイユをバスツアーで見せることができて本当に良かった。子供もパーフェクトなパフォーマンスを見られて良かったと喜んでいました。」



## JA ふくしま未来よりお米1トンが寄贈されました！ ～4/14 JA ふくしま未来～



4月14日 JA ふくしま未来本部において、菅野孝志組合長よりお米の贈呈がありました。このお米は、コヨット！に参加する子どもたちに安全でおいしい福島のお米をたくさん食べて欲しいということで、JA ふくしま未来さんから寄付していただいたものです。昨年の「吾妻のかがやき」1トンに続いて、今年は、「あだちのめぐみ」1トンをいただきました。このお米は、リゾート・イン・ぼなりで保養を行った際の食事として提供します。

吉川県生協連会長（左）と菅野 JA ふくしま未来組合長



## 全国各地のソーメン、応募ありがとうございました！ ～7月子ども遊び塾企画～

震災後に外遊びを制限されて育った小学生を対象に、森の中で自由に創造的に遊ぶのが子ども遊び塾です。7月8日～9日に竹を割り、箸づくりに挑戦します。その箸で流しソーメンを食べようということで、組合員活動ニュース 17-045 にて全国の生協にご当地のソーメンを募集しました。5月末現在、茨城から長崎まで6生協のエントリーがありました。ありがとうございました。



写真は昨年のソーメン流しの様子

発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部  
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

住吉、小池